

書牘卷之二（十三）

地所^{賣證}売渡証文

覺

一、金何百円也^圓

但何大区^區何小区^區何町何番地何百坪

右は拙者^者是まで所持之

地所、此度地券書替、貴殿

ニ^賣売渡候ニ付、其代料とし

て、書面之金子受取候^處処、

実正也、然ル上は、^者万^萬一右地

所ニ付、故障之儀申出候者

これ有候共、証人^證引受、聊

御煩勞相懸申間敷候、後日

のため、証書^證さし入候也、

明治何年何月何日

賣渡人 何某

証人 何某

何某殿

※漢字は全て新字体に直したが、原文が旧字体に近い書体で書かれている場合は、右脇に旧字体を添えた。

※変体仮名は現行の平仮名に直した。なお、字母に当たる漢字を右脇に添えた。